

第2期 斜面工学研究小委員会 第1回広報・普及WG会議 議事録(案)

日時：平成18年1月13日(金)10時30分～12時30分

場所：(株)環境地質会議室(JR川崎駅下車すぐ)

出席者： 委員長：後藤聡、 副委員長：稲垣秀輝、 幹事：大野博之、

広報WG長：吉田洋子、 防災WG長：上野将司、 小嶋茂人委員

資料

1) 「知っておきたい斜面のはなし Q&A-斜面と暮らす-」のPR用パンフ(小嶋委員製作)

2) 「知っておきたい斜面のはなし Q&A-斜面と暮らす-」

審議内容：

1. PRパンフの配布について

小嶋委員製作のパンフを元に検討し、以下の結果となった。

パンフの作成

本の紹介チラシと 講習会申し込み・本購入申し込みチラシの2枚をセットになったパンフを作成する。本の紹介チラシは小嶋委員が作成したのも改良し完成させる(後藤委員長が必要資料を渡す)。講習会申し込み・本購入申し込みチラシは土木学会のチラシを利用し、講習会申し込みの部分を小嶋委員が製作し委員長に渡す。これらを委員長が土木学会の持ち込みパンフの完成と配布を行う。

パンフ配布先のリスト作成

地方自治体、関係団体・協会などの情報を大野幹事に集約し、配布先のリストを作成する。委員長は防災関係リストを山梨県から入手できればそれを活用する。関係団体・協会(宅建協、不動産協会)などについては吉田WG長・小嶋委員をはじめ多くの委員からの情報を集める。地方自治体などの配布先は職名にする。配布方法については委員長が、土木学会と相談する(出版広報費が使えるはず)。

3. 講習会の開催

講習会の開催については今年度において以下の3回を計画する。また、PRパンフの配布の回収結果をみて、地方自治体や関係協会などで出前講習会を継続していく。

都内での技術者向け講習会

地方での講習会

首都圏での市民向け講習会

1) 都内での技術者向け講習会

5月11日 木 か 25日 木、土木学会講堂、10時～16時、本「知っておきたい斜面のはなし Q&A-斜面と暮らす-」を入れて、2500円程度、内容は総合（講師：大野、後藤） 防災（講師：上野、稲垣） 維持管理（講師：釜井、太田） 環境（講師：佐々木、中野） 計画（講師：築瀬、吉田）

講師は確定ではないが、1セッション約45分程度で行い、最後に討論、質問会をやる。詳細な計画は後藤委員長が作成し、土木学会とつめる。

2) 地方での講習会

6月の防災月間、四国の高松か松山、1日間、本「知っておきたい斜面のはなし Q&A-斜面と暮らす-」を入れて、未定円程度、講師は中四国の委員中心（長谷川委員・鈴木委員・向谷委員・西山委員・谷川委員）にWG長や四国の先生（矢田部龍一教授）など予定。場所・日・内容・講師などについて、1月25日に稲垣が四国に行くので長谷川委員・矢田部先生と打合わせる。

3) 首都圏での市民向け講習会

基本的に、秋の9月ごろに、横浜・多摩などの首都圏周辺の自治体と協賛し市民講座の形で行う。吉田WG長が、3月3日の委員会までに原案を作成する。教科書は「知っておきたい斜面のはなし Q&A-斜面と暮らす-」を利用。

4. 現地案内会の開催

3月3日の第4回斜面工学研究小委員会の次の日（3月4日（土））に川崎市近郊で実施する。委員の参加のほか一般市民などにも参加を呼びかけ実施予定。原案は、上野・小嶋で作成する。

現地案内本の製作については今後検討する。原稿は8月にまとめ、10月学会誌に載せる。締め切り12月末。第1回WGは2月開催。また、入っていただきたい方には声をかける。

5. 講師用PPTの作成

大野幹事を中心に作成する。内容は「知っておきたい斜面のはなし Q&A-斜面と暮らす-」の本を中心とし、テーマごとにわけたものを作る。各WG長が援護する。

6. その他

本の書評については、先に決めてある関係学会担当者が、関係学会に打診し、オッケーならば、本をその学会に献本するよう手配する（すでに送っているのもあり）。

献本について、必要な名簿は追加で作成し、土木学会出版事業課に送る。